

# けあき

医療の原点は思いやり

2021  
MAY

7  
vol.



特集

## 地域救急医療を支える砦！ 「救命救急センター」

緊急性の高い患者さんを受け入れる3次救急医療機関





緊急性の高い患者さんを

受け入れる3次救急医療機関

## 救急医の初期診療から各科の専門性へと治療をつなぐER型を採用

救急医療は、入院や手術を伴わない1次救急、入院治療や手術が必要な重症患者に対応する2次救急、重篤患者や多発外傷などを受け入れる3次救急に分かれます。当院は、3次救急医療機関として2009年に県の指定を受け、年間約17,000人の救急患者さんに対応しています。また、2019年にはこれまでの当院の救急医療に対する取り組みが評価され、救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

当院の救命救急センターは、ER型救急医療システムを導入しています。初期診療として、救急医が症状を観察し適切な処置をし、専門診療科につなげる仕組みです。この診療体制により、受診患者さんはスムーズに安全安心な治療を受けていただけます。

多発性外傷や熱中症など、複数科にまたがりそうな疾患の場合は、内科系、外科系の当番医が診療を担当します。

## 救急隊や院外医療職など質向上を図る取り組みも充実

限られた人材で、地域全体の救急の質を向上させるには、一人ひとりのスキルアップも欠かせません。当院は、各学会が定める救急対応、蘇生法の研修コースを複数準備し、救急隊や看護師、研修医などの要望に応じ、指導しています。また、救

急隊の能力向上を目指し、メディカルコントロールの体制をとっています。メディカルコントロールとは、気道確保や気管挿管など、救急隊が行う医療行為への指示や救急隊の判断が正しかったかどうかを検証し、結果を次に生かす取り組みです。



## 救急医療の適切な利用に理解と協力を

新型コロナウイルス感染症の対応について、発熱の患者さんすべてにPCR検査をするという方法もありますが、検査の量を考えると現実的ではありません。当院では、救急隊からの情報をもとに、PCR検査をすべきかどうかを判断するほか、念入りなトリージングで見落とさないよう努力しています。

新型コロナウイルス感染症のため、救急の受入れは減りましたが、入院率は50%近く上っています。これは、適切な利用が進んでいる表れだと思います。限られた医療資源を、必要な人に提供することが必要です。救急の医療資源は限

りがあります。有効に活用するため、ご理解とご協力をお願いします。



救急科部長兼  
救命救急センター長

間遠 文貴

### 目の前にある命を救いたい ～救急医の思い～

救急科医師 一谷 真一

目の前に倒れている人がいたときに、何かできる医師になりたい。そんな漠然とした思いから救急医になりました。

さっきまで普通の生活をしてきた人が、突然、意識不明の重体で運ばれてくることもあります。そんな時に病气や事故にあう前と同じ生活が送れるように、また少しでも家族との時間が作れるように、患者さんとその家族にとって最もよい治療はなにか、できることはなにかを考えて診療しています。

もちろん自分一人ではできることは限られていますが、当院には救急にかかわる医師のほかに、優秀な仲間（看護師、放射線技師、薬剤師、検査技師、医療事務など）がいるため、少ない救急医でも充実した診療を可能としています。

自分で診た患者さんが元気になってくれたときの達成感や充実感は大きいです。そういう瞬間に湧き上がる嬉しさが、私の一番のやりがいです。救急医療自体がまだ確立していない医療だという点もあって、毎日がチャレンジと勉強の日々ですが、研鑽を重ね一人でも多くの人に「救急に先生がいてくれてよかった」と思ってもらえるような救急医になりたいです。



### 的確で迅速な看護の提供を ～認定看護師の思い～

救急看護認定看護師 玉澤 美加子

当院は年間約4800台の救急車、約17,000人の救急患者を受け入れている3次救命救急センターです。3次救命救急センターとは重症・重篤な救急患者さんを受け入れる病院です。中東遠地域には3次救命救急センターは当院を含めて2病院しかなく、まさに地域の救急医療の中核を担っていると言えます。

救急外来では様々な疾患や外傷などの患者さんが受診します。そのため幅広い知識と技術が必要になります。また、1分1秒を争う緊急性の高い患者さんや重症度の高い患者さんも搬送されてきます。救急看護認定看護師として、的確で迅速な治療や看護を提供することを常に心がけています。急なご病气や入院で動揺されている患者さんやご家族も多くいらっしゃいます。少しでも不安や心配が軽減され、安心して治療が受けられるような関わりを持ちたいと考えています。

今後も地域の皆様がよりよい急性期医療を受けることができるように活動していきます。





# 中東遠地域の 胸部外科疾患の治療拠点

呼吸器外科 部長 望月孝裕



胸腔鏡手術を  
施行する  
呼吸器外科チーム

## がん、肋骨・胸骨骨折など、 様々なニーズに対応

呼吸器外科は肺を中心とした胸の中に生じる様々な疾患に対する外科的治療を専門としています。肺がん、転移性肺腫瘍、肺良性疾患（良性腫瘍、肺分画症など）、縦隔腫瘍（胸腺腫、縦隔のう胞、神経原性腫瘍など）、胸膜・胸壁腫瘍（中皮腫など）、自然気胸、膿胸などの疾患に加え、外傷性血気胸、肺挫傷、肋骨・胸骨骨折などの救急胸部外傷に対する治療を行っています。

## 低侵襲手術から拡大手術まで

身体に対する影響が少なく（低侵襲）、傷も小さい胸腔鏡（きょうくうきょう）での手術を積極的に行っています。肺がんに対する手術では、胸腔鏡下手術に5～8cm程度の小開胸を組み合わせ、従来法の手術の利点も取り入れた「ハイブリッド胸腔鏡手術」を行っています。自然気胸、肺生検などの手術では従来の胸腔鏡下

手術よりも更に低侵襲・美容的に手術を行っています。また、周囲の臓器に進展した進行肺がんなど、根治のために拡大手術が必要となる患者さんについても治療を行っています。

肺気腫・間質性肺炎・心筋梗塞など、様々な基礎疾患をお持ちの患者さんには、呼吸器内科、循環器内科、麻酔科やリハビリテーション科など他科と連携して緻密な術前評価や周術期管理を行い、最適で安全な治療を提供するよう心掛けています。

## おわりに

2018年4月から常勤医として望月が着任し、新たな体制でスタートしました。19年4月には、国立がん研究センター東病院で修練を積んだ沖 智成医長が加わって、呼吸器外科専門医2名となり診療体制がパワーアップいたしました。今後も中東遠地域の呼吸器外科として患者さんに寄り添う医療を心掛けてまいります。



呼吸器外科 部長 望月 孝裕

浜松医科大学医学部 卒業年 1998年

認定資格

日本外科学会外科専門医  
呼吸器外科専門医  
日本医師会認定健康スポーツ医

緩和ケア研修(PEACE)修了  
臨床研修指導医講習会修了



救急撮影認定技師は、救急疾患や外傷に関する高度な知識と撮影技術を習得し、救急撮影業務を円滑に行っています。「日本救急撮影技師認定機構」が認定する専門資格で、当院放射線診断技術科には2名在籍しています。

意思疎通困難や動きの制限がある患者さんに対しても適切に検査し、診療に役立つ画像が提供できるように機器設定、環境設定を行って



CT検査時の様子



救急撮影認定技師として活躍する2名の診療放射線技師

ます。また、救急撮影技術、救急疾患画像、外傷患者対応等、習得した知識を救急業務に従事する技師へ教育を行い、技師全員が質の高い撮影を行えるよう協力しています。

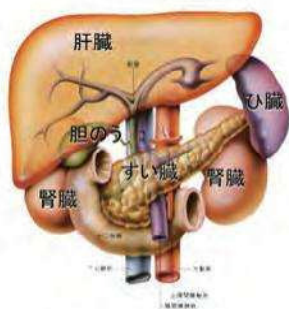
救急医療はチーム医療とされています。チームの一員として多様なメンバーと協力し合い、患者さんに最高の医療を提供できるようにスタッフ一同で取り組んでいきたいと思

## 解説！ 腹部エコー検査のおはなし

臨床検査技術科

### Q どのような検査？

**A** 超音波検査（エコー検査）は、人の耳では聞こえないほどの高い周波数の音を身体の中に向けて発信し、その音の反射を利用し画像化させる検査です。腹部エコー検査では、肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、脾臓、腹部の血管などを詳しく観察します。



### Q 検査の特徴

**A** 検査時間は15分程度です。お腹にゼリーを塗って、機械をあてて検査します。腹部エコーは食事による影響で臓器の観察がしにくくなるため、検査前は飲食の制限があります。エコー検査は痛みがなく、放射線の被ばくも受けないため、身体への負担が少ない検査です。

### Q 何がわかるの？

**A** 腹部の各臓器（肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、脾臓）の悪性または良性の腫瘍のほか、脂肪肝や結石等の生活習慣病に関連の強い変化も発見できます。

#### すい臓

##### 正常



点線の中に灰色のすい臓がみえる

##### すい臓の腫瘍



矢印の部分に黒い病変がみえる



## 新しい仲間が加わりました ～磐田市立総合病院へようこそ!～

「医療の原点は思いやり」の  
理念を実践できる職員と  
なれるよう、日々頑張ります!



### 新人職員

研修医	16名
看護師	28名
診療放射線技師	2名
臨床工学技士	2名



研修医1年目

小澤 健仁

### 2年間の研修で自ら学び、多くを吸収したい

私は幼少期から病気がちで、けがをしやすいスポーツをしてきたことから、医療と関わる時間が長く、気づいた時には医師を志していました。当院は上級医の先生方が熱心、かつ丁寧に教えてくださり、研修医のための学びの場が多くあるなど、医師としての第一歩を踏み出す上で理想的な環境が整っていると思います。

これから2年間の研修を通して、基本的な診療技術を学ぶとともに、患者さんの心に寄り添えるような医師になれるよう、自ら学び、多くのことを吸収していきたいと思います。また、微力ではありますが、私の地元である磐田の医療に少しでも貢献できるよう、日々精進していきたいと思っています。

看護師

増田 里帆



養護教諭として生徒の心に寄り添う母の姿を見て、私も病気やけがの人に寄り添える看護師になろうと決めました。生まれ育った地域医療の役に立ちたいという思いから、地域医療支援病院として、病院と地域をつなぐ切れ目のない充実した看護を提供している当院を選びました。また、ローテーション研修で、学びを深めたい分野を見つける機会があることも魅力です。

日々多くのことを吸収して、知識や技術を身につけ、その人らしい生活ができるように患者さんやご家族に寄り添える看護師を目指していきたいです。

その人らしい生活ができるよう  
寄り添える看護師を目指す

### マンモグラフィの資格取得も目指す

母がマンモグラフィ検査を受け、診療放射線技師の仕事を知りました。患者さんに安心して検査を受けていただける技師になりたいと思ったのがきっかけです。家族が受診した際、病院内の雰囲気が良く、スタッフの対応が親切であると感じ、当院で働きたいと思いました。



診療放射線技師

夏目 沙季

安心して仕事を任せてもらえるために、先輩方から見たり聞いたりしたことを吸収し、身につけていきたいです。マンモグラフィの資格取得も並行して努力していきたいです。



# 院内日記

磐田市立総合病院ニュース

## 業務改善・5S活動コンテストの表彰式開催! 2021年2月18日(木)

業務改善部門と5S活動部門でそれぞれ10チームが発表し、創意工夫により優秀な取り組みを行った部署を毎年表彰しています。5S活動とは、「整理」・「整頓」・「清掃」・「清潔」・「しつけ」を視点とした医療安全文化の醸成と病院経営の健全化を目的とした取り組みです。

業務改善部門の最優秀賞は消化器内科の「消化器・肝臓内科の働き方改革」、5S活動部門の最優秀賞は救命救急病棟の「物の5S 業務の5S」でした。

当院の文化である業務改善と5S活動を、今後就職される新しい職員にも根付かせ、更にパワーアップしていきたい思います。



## 職員表彰式を開催しました! 2021年3月18日(木) ～ベストスタッフ賞にコロナに立ち向かう女性職員を選出～

当院では、職員として誇れる素晴らしい行動を職員みんなで賞賛しあえる風土をつくり、その素晴らしい経験を職員みんなで共有することを目的に職員を表彰しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症により日常生活や職場の環境が大きく変化した年でした。そんな中、「チームいわた」として目に見えないウイルスからの院内感染や地域への感染拡大防止に向けて、医療人としての高い意識と使命感を持って職務を全うしてきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対応に、特に活躍した10部署から、その部署で活躍が顕著であった女性職員11名を「なでしこいわた」と称し、表彰しました。

今後も「医療の原点は思いやり」という理念を実践し、地域の皆様から信頼される医療を提供してまいります。



## 子どもたちからたくさんの メッセージカードをいただきました

向陽中学校、磐田西小学校、森中学校の子どもたちがメッセージカードを当院に届けてくれました。新型コロナウイルス感染症への対応が長期化していますが、温かいメッセージをいただき、職員もこれから先も頑張る活力を得ることができました。少しのがまんの先に明るい未来が訪れることを信じて、みんなで乗り越えていきましょう!







1人前当たり

エネルギー 192kcal 炭水化物 4.7g

たんぱく質 14.9g 食塩相当量 0.9g

脂質 12.1g

### 材料 4人分

- ・厚揚げ …………… 1枚(150g)
- ・鶏ひき肉 …………… 200g
- ・小ねぎ …………… 適量
- ・卵 …………… 1個

- A
- ・片栗粉 …………… 大さじ1
  - ・塩 …………… 1つまみ
  - ・こしょう …………… 少々
  - ・醤油 …………… 小さじ1/2

- ・オリーブオイル …… 少々
- ・ポン酢 …………… 適量 (1人前目安: 大さじ1/2)
- ・大根おろし …………… 適量
- ・しそ …………… 適量



## ヘルシー・簡単! ふんわり厚揚げハンバーグ

### 作り方

- ① 厚揚げをザルにのせ、表裏に熱湯をまわしかける。
- ② 厚揚げの水気をキッチンペーパーでふき取り、ビニール袋の中に入れて細かくつぶす。
- ③ ボウルに鶏ひき肉、溶き卵、Aを加え、粘りが出るまでよく混ぜる。
- ④ さらに、②と小口切りにしたねぎを加え、混ぜる。(ねぎは盛り付け用に少し残す。)
- ⑤ フライパンにオリーブオイルを熱し、スプーンで④を落として形を整えながら両面をこんがり焼く。
- ⑥ 好みで、大根おろし、しそ、ねぎをのせ、ポン酢をかけていただく。



厚揚げ入りのふんわり軟らかいハンバーグです。厚揚げを使うことで、豆腐を水切りする手間を省き、また肉の量を減らすこともできます! これからの季節、大根おろしとポン酢で、さっぱりといただけます。小さい子供向けには、トマトケチャップをかけても人気です。



## 診察案内の状況をWebで閲覧できます!

2021年4月から、診察案内の状況をWebで閲覧できるようになりました。スマートフォン等で専用のQRコードを読み取り、受診する診療科と診察室を選択すると、外待合に表示されている表示盤の内容をお手元で確認することができます。是非、ご利用ください。



### 【注意事項】

- ・表示盤を使用していない診療科は内容が表示されません。
- ・電波の通信状況により閲覧ができない場合があります。



## 磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL:0538-38-5000 FAX:0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



過去の「けやき」  
はこちら



インスタグラム  
はこちら



フェイスブック  
はこちら